

第7章 ブリッジ情報の設定 (オプション)

7.1 ブリッジ情報 (オプション)

7.1.1 bridge age (オプション)

【機能】

ブリッジ学習テーブルの生存時間の設定

【入力形式】

bridge age <age_time>

【パラメタ】

<age_time>

- 生存時間

MAC アドレス学習によって学習した情報の生存時間を、10 秒 ~ 1000000 秒の範囲で指定します。

単位は、d(日)、h(時)、m(分)、s(秒) のいずれかを指定します。

【説明】

本コマンドは、ブリッジ機能を使用する場合にだけ有効です。

アドレス学習テーブルの生存時間を設定します。

アドレス学習機能によって学習された MAC アドレステーブルを最後に使用してから削除されるまでの時間を設定します。

【未設定時】

アドレス学習テーブルの生存時間として 5 分を定義するものとみなされます。

```
bridge age 5m
```

【注意】

このコマンドは、Si-R30 拡張オプションソフトウェアをインストールしたときに使用できます。

7.1.2 bridge stp priority (オプション)

[機能]

ブリッジ優先度の設定

[入力形式]

bridge stp priority <priority>

[パラメタ]

<priority>

- 優先度

ブリッジネットワーク内での本装置の優先度を、0～65535の10進数値で指定します。値が小さいほど、優先度が高くなります。

[説明]

本コマンドは、STPを使用する場合にだけ有効です。

ルートブリッジ決定アルゴリズムで使用するブリッジの優先度を指定します。一般的なブリッジネットワークではルートブリッジにトラフィックが集中するため、バックボーンに近いブリッジが優先となるように設定してください。ルートブリッジにするブリッジには、最小の値を指定してください。

[注意]

このコマンドは、Si-R30 拡張オプションソフトウェアをインストールしたときに使用できます。

[未設定時]

優先度として 32768 を定義するものとみなされます。

```
bridge stp priority 32768
```

7.1.3 bridge stp age (オプション)

[機能]

Hello メッセージ待ち時間の設定

[入力形式]

```
bridge stp age <max_age>
```

[パラメタ]

<max_age>

- 待ち時間

ルートブリッジから送出される構成情報 BPDU の待ち時間を、6 秒 ~ 40 秒の範囲で指定します。

単位は、s(秒) を指定します。

[説明]

本コマンドは、STP を使用する場合にだけ有効です。

ルートブリッジまたは代表ブリッジから送出される構成情報 BPDU の待ち時間を指定します。

[注意]

このコマンドは、Si-R30 拡張オプションソフトウェアをインストールしたときに使用できます。

[未設定時]

待ち時間に 20 秒を設定したものとみなされます。

```
bridge stp age 20s
```

7.1.4 bridge stp hello (オプション)

【機能】

Hello メッセージ送出間隔の設定

【入力形式】

bridge stp hello <time>

【パラメタ】

<time>

- 送出間隔

ルートブリッジになったときに定期的に送出する構成情報 BPDU の送出間隔の時間を、1 秒～10 秒の範囲で指定します。単位は、s(秒)を指定します。

【説明】

本コマンドは、STP を使用する場合にだけ有効です。

本装置がルートブリッジとなったときに送出する構成情報 BPDU の送出間隔を指定します。

STP を使用する場合でも、本装置がルートブリッジとならなかった場合は、設定が無効となります。

【注意】

このコマンドは、Si-R30 拡張オプションソフトウェアをインストールしたときに使用できます。

【未設定時】

送出間隔に 2 秒を設定したものとみなされます。

```
bridge stp hello 2s
```

7.1.5 bridge stp delay (オプション)

【機能】

最大中継遅延時間の設定

【入力形式】

bridge stp delay <delay_time>

【パラメタ】

<delay_time>

- 最大中継遅延時間

最大中継遅延時間を、4 秒～30 秒の範囲で指定します。単位は、s(秒)を指定します。

【説明】

本コマンドは、STP を使用する場合にだけ有効です。

最大中継遅延時間を設定します。

STP を使用する場合でも、本装置がルートブリッジとならなかった場合は、設定が無効となります。

STP で Listening 状態から Learning 状態に変化する場合、または Learning 状態から Forwarding 状態に変化するまでの時間 (ルートブリッジから広報される時間) を指定します。

【注意】

このコマンドは、Si-R30 拡張オプションソフトウェアをインストールしたときに使用できます。

【未設定時】

最大中継遅延時間に 15 秒を設定したものとみなされます。

```
bridge stp delay 15s
```

